

ファインガスの高い技術により エレクトロニクス産業の発展に貢献する

台湾住精科技(股)有限公司は住友精化の100%子会社として、一昨年2004年10月に設立された。住友精化はファインケミカル、ファインポリマー、ファインガスなどで独自の高度な技術を持ち、高い評価を得ている。エレクトロニクス産業、特に成長著しい半導体、液晶、LED産業での顧客からの安定供給要請に応じ、また、末端顧客サービス向上を目的として生産拠点を設立することになったものである。

今回は台湾住精科技(股)有限公司の土屋正孝董事長にお話をうかがった。



台湾住精科技(股)有限公司
董事長 土屋正孝氏

御社の概要についてお聞かせください。

台湾住精科技は住友精化株式会社の100%子会社として2004年10月に設立されました。設立後、工場建設準備・顧客サービス活動を行ってまいりましたが、今年3月には倉庫兼工場の社屋が完成しましたので、台湾住精科技として住友精化からの輸入販売を開始しました。4月には工場登記も完了し、現在はサンプル製品の生産を始めています。夏ごろには本格的な商業運転を開始する予定です。

当初は超高純度(99.9995%以上)アンモニアのバルクガスを輸入し、移充填することで事業を開始します。ただし、今後はアンモニアガスの台湾での精製及びその他の特殊材料ガスの移充填や製造計画もあります。

現在、彰化県の彰濱臨海工業区に工場及び倉庫、新

竹に事務所があります。台湾には10名の従業員がおり、日本人としては村越総経理が駐在しています。

御社の台湾進出はどのようなきっかけがあったのでしょうか？

住友精化は、住友グループの一員としてファインケミカル(医薬品中間体、機能性化学品など)、ファインポリマー(高吸水性樹脂など)、ファインガス(標準ガス、特殊材料ガス、医療ガス)、酸素発生装置などを製造販売しています。ファインガスのうち、特殊材料ガスは長年にわたり蓄積した高純度化技術に基づき内外のお客様から高い評価を受けています。特に1970年代からのエレクトロニクス産業向け特殊材料ガス需要の増加対応するため、窒素系、イオウ系、ハロゲン系、ヒドロカーボン系、ホウ素、等多くの超高純度ガスを手掛けて来ました。

日本企業から見た台湾

台湾で取り扱う超高純度アンモニアは「半導体の絶縁膜、特に TFT 液晶用」及び「高輝度寒色系 LED 用」に向けたものが主体となります。

また、台湾への期待という場合、台湾の市場のみならずその後の中国を含む中華圏全体への展開を念頭においています。

これまでは日本の工場から輸出により供給をしていましたが、台湾のお客様からは安定供給の確保という観点により、日本だけではなくもう一つ別な工場からの供給が欲しい、更に出来れば自分たちの国内での供給が欲しいという強い要望を受けていました。

私どもの製品は超高純度ガスという事で PPB レベルでの品質保証が必要であり、台湾に工場を新たに設置するためには、製造設備だけではなく、特殊な分析機器、高度なエンジニアリングが必要になるために簡単な事ではないのですが、将来の期待できる市場と言う事でお客様の要望にこたえる決断をしました。

また、営業的な観点から言えば、超高純度アンモニアのマーケットが日本と比べても大きいために、売上を伸ばそうと思ったら台湾を確保しなければならないという事もあります。更に同業他社が一步先に進出していたという事情もありました。

台湾でのその他の特殊材料ガス事業計画とはどのようなものですか、又その他の構想はありますか？

まず、住友精化で製造しているエレクトロニクス産業向け超高純度ガスが候補となります。

また、他には、住友精化は標準化技術、分析技術

を核にして、標準ガスを生産しています。これは実験や分析の際にその基準となる値付けガスです。日本では政府がこの標準を国として定めており、当社を含め 3 社だけがこの標準ガス製造の認定を受けています。

台湾でも、この標準ガスというものは自動車排気ガス規制にしてもダイオキシン規制など、様々な環境保護対策を進めるに当たってその根底となる基準を定めるのに必要なものですので、今後重要性が高まっています。この起業化および台湾の各関連機関との連携などを検討しています。

この他、ファインポリマーの分野も考えられます。住友精化は水性樹脂という分野で非常に強い信頼を得ています。水性樹脂には様々な性質のものがあり、水に溶けるもの、水を吸収するもの、水に分散するもの、水に膨潤するものなどがあり高い評価を受けています。

この水性機能性樹脂の代表的なものは紙おむつなどに使われる吸水性の樹脂です。アクリル酸をベースにして、弊社独自の技術によりポリマーをブドウ状にして更にマイクロカプセル化するという処理をしています。このため、加工がしやすいなどの特性を持っています。

現在、住友精化は日本とシンガポールに生産拠点を持っておりませんが、将来的にはこのようなファインポリマー分野も広げたいと考えています。

本日はありがとうございました。